

青森県から北海道へ

氏名 木村大樹

青森県つがる市立車力中学校 → 北海道七飯町立七飯中学校
(期間：平成28年4月1日～平成30年3月31日)

1 青森県やつがる市の教育

- つがる市教育研究会では、各地区ごとに「生きる力をはぐくむ小・中連携のあり方」というテーマのもと、各担当校の公開授業を基底とする研究協議会や情報交換を行い、小・中連携強化を推進しています。
- つがる市では、国の「いじめ防止対策推進法」に基づく対策を推進するために、「つがる市いじめ防止基本方針」を策定しています。市・教育委員会・学校・家庭・地域住民その他の関係機関等が連携し、いじめの防止・早期発見及びいじめへの対処のための方策を、市民とともに、総合的かつ効果的に推進するために策定したものです。教育委員会や学校が連携して、定期的にアンケートを行い、早期発見・早期対応に努めています。

2 学校や地域の特色ある教育活動

- 学習習慣の確立を目指した取組
 - ・本校では、「学習の手引き」を配布。年度初めのオリエンテーションで、全校生徒に家庭学習の仕方などを説明し、子どもたちの学習習慣の確立を目指しています。また、定期テストの範囲表を貼る欄や計画を記入する欄、テスト結果も貼り付けできるようになっていて、1年間の学習を振り返ることができるようになっています。
- つがる市授業づくりのスタンダード
 - ・つがる市の各小中学校では「つがる市授業づくりのスタンダード」に取り組んでいます。このことにより、学習スタイルが定着し、どの子も安心して学習できるようになります。また、「課題」と「まとめ」をはっきりさせること、そして、最後に自分なりに勉強したことを振り返る場面も大切にしています。
- 「夢に向かって」
 - ・学区内の小学校6年生～中学校3年生まで、毎年自分の夢について考える時間を持ち、同一のシートに記録し、継続的な指導に生かしている。

○ 「自習タイム」

- ・テスト期間（部活動制限期間）は、帰りの会後に30分間学習タイムを設けています。生徒は、自習しながらお互いに分からないところを聞きあったりします。教師も、各教室を回り、アドバイスをしたり、質問を受けたりしています。

3 私が取り組んできた実践

○ ペア・小グループでの形態を効果的に用いる

- ・発表の前に、「隣近所で情報交換してご覧」と声をかけ、発表内容に自信のない子も自信を持って発表できるようにしています。

○ 見通しをもった学習参加

- ・学習計画表を配布し、単元を貫く目標を提示し、見通しを持って学習参加できるようにしていました。また、まとめはなるべく自分の言葉で書かせるようにしています。（板書を写しただけで国語を勉強した気にならないように）

○ 委員会活動

- ・3年委員を中心に、企画・運営を行わせて、リーダー性を養い、成就感を味わわせます。